

エ ス コ 南部病院 E S C O 事業いよいよ工事開始！！

～ 大幅な光熱水費削減を実現、本契約を締結しました～

横浜市では、既存公共建築物の省エネルギー化改修にあたって、環境負荷の低減と財政負担の軽減を図るため、民間の資金・ノウハウを活用する ESCO 事業（裏面参照）を積極的に導入することとしています。

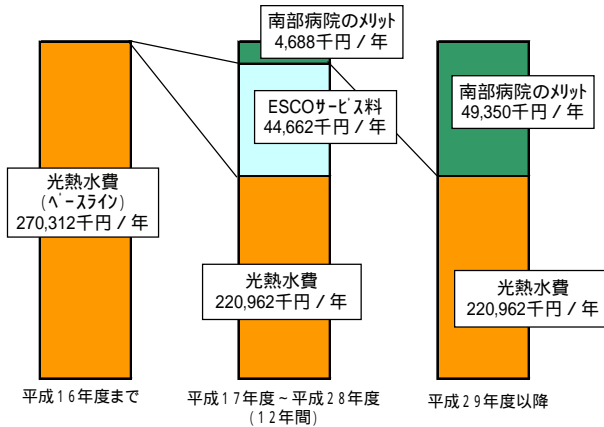
恩賜財団済生会横浜市南部病院を対象とした ESCO 事業に関する契約を平成16年8月26日に最優秀提案者ダイダシ株式会社（平成16年3月17日 ESCO 提案審査委員会にて選定）と締結し、平成17年4月1日から省エネルギーサービスの提供を受けることとなりました。

本契約の内容は、光熱水費削減予定額4900万円/年、省エネルギー率22.5%、CO₂削減率38.9%となるもので、コージェネレーションシステムの導入、熱源機器の更新、照明器具の高効率化などの省エネルギー改修が盛り込まれています。（裏面参照）

今回の事業者公募では、6企業・グループから提案が出され、いずれも光熱水費削減額が大きく、省エネルギー効果の高い提案となっていました。そのなかで、ダイダシ株式会社からの提案が、エネルギー消費量、CO₂ 排出量、光熱水費の削減目標など、公募条件において、総合的に最も優れていたため、最優秀提案に決定していました。

また、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの補助金「平成16年度住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金（建築物に係るもの）」の交付決定を受けました。今回のモデル事業の経過を踏まえ、16年度に ESCO 事業対象施設の選定を進め、「導入計画」を策定します。この「導入計画」に基づいて、積極的に ESCO 事業を推進して行きます。

南部病院 ESCO 事業の経費と利益配分（消費税込み）



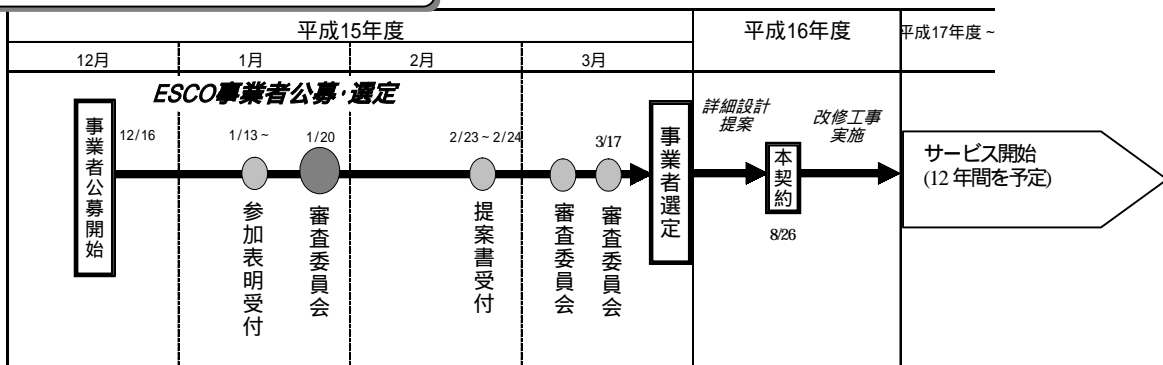
平成29年度からは、ESCO設備のメンテナンス費用が別途必要となります。

恩賜財団済生会横浜市南部病院概要

- ・1983年（昭和58年）建設（築20年）
- ・SRC造、延床面積 28,707㎡
- ・病床数：500床
- ・運営：社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会
- ・住所：横浜市港南区港南台3-2-10
- ・運営：済生会
- ・施設：済生会と市の共有

ESCO 事業は、今回提案された機器更新等の設計から施工、維持管理まで、全て提案事業者が行い、その費用は削減された光熱水費の一部から支払うこととなりますので、厳しい財政状況の中でも、公共建築物において、必要な設備改修による市民サービスの向上、省エネルギー対策による地球温暖化への対応、維持管理費の低減による財政状況への対応、を実現できる有効な事業手法です。

南部病院 ESCO 事業スケジュール



契約概要

1 事業名	恩賜財団済生会横浜市南部病院 ESCO 事業
2 事業場所	神奈川県横浜市港南区港南台3丁目2番10号 恩賜財団済生会横浜市南部病院
3 事業者	ダイダン(株)
4 契約金額	総支払限度額 535,941,000円(消費税込み) 年度別支払限度額 44,661,750円(消費税込み)
5 契約期間	平成16年8月26日から平成29年3月31日まで (ESCO サービス期間:平成17年4月1日から平成29年3月31日まで)
6 省エネ改修等の概要	省エネルギー率 22.5% CO ₂ 削減率 38.9% 光熱水費ベースライン 270,312,402円/年(消費税込み) 光熱水費削減予定額 49,350,000円/年(消費税込み) 主な改修項目 ・ガスコジェネレーションシステムの導入 ・高効率小型貫流ボイラーの導入 ・年間負荷パターンに合わせた空調熱源の分割と高効率冷凍機への更新 ・ポンプのインバータ制御化 ・ファンのインバータ導入 ・蒸気配管断熱強化 ・照明器具の高効率化 ・節水装置、擬音装置の設置 ・BEMSの導入 ・井水の雑用水利用
7 補助金	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)に「平成16年度住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金(建築物に係るもの)」を申請し、交付決定された。(予定額:84,246,666円)

ESCO 事業の仕組み

ESCO事業とは、既存施設の設備改修において、省エネルギー化と維持管理費の低減を図るため、民間事業者が計画・工事・管理・資金調達等包括的なサービスを提供し、従前の環境を低下させることなく省エネルギー化を行い、その結果得られる効果を保障する事業です。

ESCO = Energy Service Company の略称です。

